



里山に育む生きものたち

27 ハジロカイツブリ

(カイツブリ目カイツブリ科)

学名 Podiceps nigricollis

英名 Black-necked Grebe

写真 / 岩本 昌憲

文 / 山口 萬壽美

▼観察メモ

「ハジロカイツブリ」と聞くと、幼稚園生が並んで歩く姿が（海岸や湖沼を大きな群で長い列を作り、水面を移動する姿）と重なります。このような楽しい集団行動が冬期、静かな湖沼の湖上で展開されていたのです。

東日本大震災が起こってから早3年が経ちます。ラムサール条約への登録を目指している湖沼周辺ですが、主役であるスズガモが減少し、ハジロカイツブリも大分減少しています。

あの震災で、湖沼周辺の土手は総崩れとなり、湖沼も大きな沈下が起こり、鳥たちへの影響も大きかったようです。今は全堤防の改修工事も終わり、静かな湖上に戻りました。しかし、今年大群のハジロカイツブリは湖沼に戻って来ませんでした。

ハジロカイツブリの大群よ、再びあの楽しい姿を見せてくれ！ 待つてます!!

カイツブリの仲間は、留鳥のカイツブリを除いたハジロカイツブリ、ミミカイツブリ、カンムリカイツブリなど、冬期に日本全国の湖沼や海岸に冬鳥として渡来します。

▼分布

ヨーロッパ・カザフスタンにかけてと、中国東北部・ウズビー・北アメリカ中部・南アメリカ東部で繁殖し、ヨーロッパ・東南アジア・中南米・アフリカ南部で越冬。日本には冬鳥として九州以北に飛来します。

生息場所として、内湾や霞ヶ浦、北浦、湖沼などでよく見られます。

▼主な特徴

カイツブリよりやや大きく、体長約28cmで雌雄同色。黒くて短い、やや上上がった嘴をもつ。冬羽では、頭上と背は黒褐色、喉は白く頸からわき腹は汚白色。3月、北帰行に遅れた個体は夏羽となり、赤い目（虹彩）の後ろの飾り羽は三角形に広がります。金栗色に輝く、美しいこの姿はこの鳥のトレードマークです。

この種は個体での行動はあまり見られず、内湾や大きな湖上で細長い大きな群れを形成し、集団行動をする姿がよく見られます。

編集・発行 / 茨城町総務企画部まちづくり推進課

〒311-3192 茨城県東茨城郡茨城町小堤1080 TEL 029-292-1111 FAX 029-292-6748

ホームページアドレス <http://www.town.ibaraki.lg.jp/> メールアドレス ibarakit@town.ibaraki.ibaraki.jp

DATA

茨城町の人口と世帯数 ※カッコ内は前月比です。(住民基本台帳 平成26年5月31日現在)

◆総人口 34,019人 (-68) 男 17,062人 (-33) 女 16,957人 (-35) ◆世帯数 12,701世帯 (-21)

DATA

再生紙を使用しています



環境に優しい大豆インキを使用しています